

『PCA hyper 固定資産シリーズ』

Ver.1.0 Rev.6.45プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

KD-H260306

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

《令和7年度税制改正対応》

◇ 経過リース期間定額法対応

- 経過リース期間定額法に対応しました。

以下、会社基本情報で経過リース期間定額法を適用するとした領域についてです。

- 適用条件を満たすリース期間定額法を経過リース期間定額法として登録できるようになりました。
- 出力範囲-償却方法で、経過リース期間定額法を選択できるようになりました。

《資産》

◇ 資産の一覧入力

- 資産の一覧入力処理で、国庫補助金（社会福祉法人）、補助金等（公益法人）の入力に対応しました。

《システム領域の作成・更新》

◇ PCA ID対応（PCAクラウド・PCAサブスクのみ）

- システム領域の作成・更新時にPCA ID連携の有効化を行えるようになりました。

互換性に関する変更点

《データ領域の更新について》

データ領域のバージョンを「8.03」に更新しました。

下記のデータ構造を拡張しました。

- 会社基本情報
- 資産(ヘッダ)
- 資産(当期償却額)
- 資産(当期償却限度額)

《APIの変更について》

以下のデータ構造を拡張したため、バージョンを更新しました。

- 会社基本情報（バージョン「106」）
- 資産（バージョン「113」）

《汎用データの変更について》

以下のバージョンを更新しました。

- 会社基本情報（バージョン「11」）
- リース資産（バージョン「17」）